

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年9月1日から2026年12月7日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>オーストラリア高配当株式マザーファンド</b> オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>オーストラリア高配当株式マザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年12月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いはおおよそその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

# オーストラリア・ 高配当株ファンド (年1回決算型) 【運用報告書(全体版)】

(2021年12月7日から2022年12月5日まで)

第 **6** 期

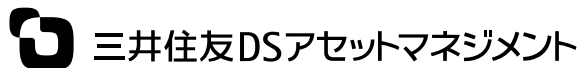
決算日 2022年12月5日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率	投 証 比	資 産 信 託 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	百万円	
2期 (2018年12月5日)	9,732	0	△ 5.0	64.9	33.9	172	
3期 (2019年12月5日)	10,143	0	4.2	51.0	46.9	172	
4期 (2020年12月7日)	10,275	0	1.3	58.4	40.0	88	
5期 (2021年12月6日)	11,882	0	15.6	66.4	28.8	70	
6期 (2022年12月5日)	15,100	0	27.1	65.5	30.0	73	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率	投 証 比	資 産 信 託 入 率
(期 首) 2021年12月6日	円 11,882	% —	% 66.4	% 28.8	% 28.8
12月末	13,067	10.0	65.5	29.7	29.7
2022年1月末	12,237	3.0	67.6	27.4	27.4
2月末	12,854	8.2	65.9	27.1	27.1
3月末	15,219	28.1	67.2	27.8	27.8
4月末	14,836	24.9	66.9	29.9	29.9
5月末	14,883	25.3	67.9	28.8	28.8
6月末	14,098	18.7	67.4	27.9	27.9
7月末	14,388	21.1	67.9	28.8	28.8
8月末	14,579	22.7	67.4	28.5	28.5
9月末	13,559	14.1	68.0	26.6	26.6
10月末	14,427	21.4	65.7	29.9	29.9
11月末	15,171	27.7	65.2	30.1	30.1
(期 末) 2022年12月5日	15,100	27.1	65.5	30.0	30.0

※騰落率は期首比です。

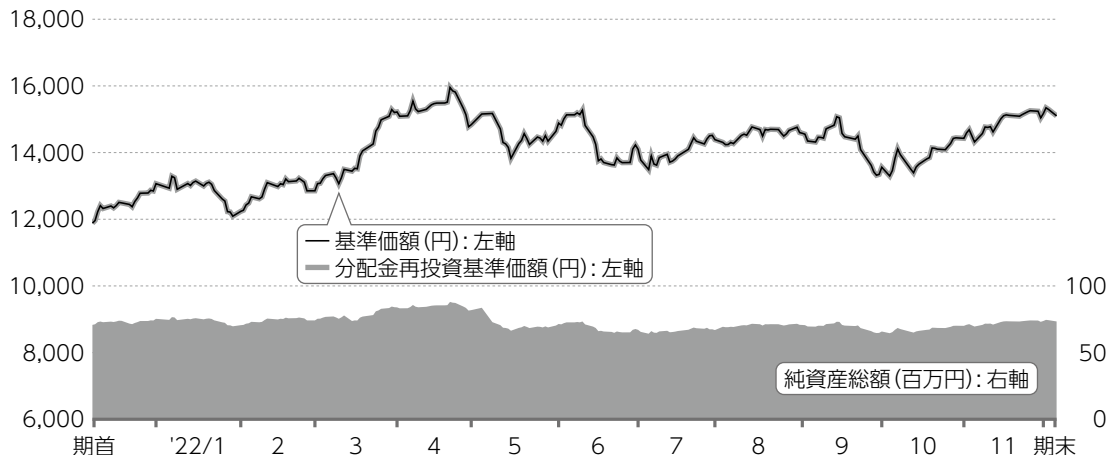
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	11,882円
期 末	15,100円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	+27.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- ロシアのウクライナ侵攻などによる資源価格の上昇により、エネルギーや鉱山などの株価が上昇したこと
- 2022年10月中旬から期末まで、米国の利上げペースの減速期待から世界的に株式市場が上昇したこと
- 期を通じてオーストラリアドルが円に対して上昇したこと

#### 下落要因

- 4月下旬以降10月上旬まで、世界的な金利上昇や、中国の景気減速懸念などで、株式市場が下落したこと

投資環境について（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

オーストラリアの株式市場は、ほぼ変わらずとなりました。為替市場では、オーストラリアドルに対して円安となりました。

### 株式市場

オーストラリア株式市場は期間においてほぼ変わらずとなりました。米国の金融政策が引き締めへと転換したこと、中国のゼロコロナ政策の堅持、欧州ではロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりや資源価格の上昇など、世界の株式市場を取り巻く環境は厳しいものとなり、欧米や中国の株式市場は下落しました。

こうした厳しい市場環境の中、オーストラリアの国内景気は経済活動の再開に伴う回復基調を維持しました。期初から4月までは、景気回復期待や資源価格の上昇などを背景に株式市場は上昇しました。その後、RBA（オーストラリア準備銀行）が利上げを行うと米国のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な政策への警戒感や中国のゼロコロナ政策の継続、不動産問題の再燃などに伴う景気減速懸念も重なり下落しました。10月上旬以降、米国のインフレ懸念がやや緩和し、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペースは減速していくとの見方が広まると株式市場は上昇し、前期末とほぼ同じ水準まで戻しました。

### 為替市場

オーストラリアドルは、円に対して上昇しました。

米ドル・円は、米国の利上げの実施で米国の金利上昇とともに米ドル高・円安が進みました。期初から3月まで資源価格の上昇とオーストラリア国内の景気回復により金利が上昇し、オーストラリアドルも対米ドル、対円で上昇しました。その後オーストラリアドルは、米国の金融政策がタカ派へと傾いたことから、10月中旬まで対米ドルでは下落したものの、期を通じて対円では上昇しました。

ポートフォリオについて（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

## 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。期を通じて「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

### ●業種配分

景気回復に伴う業績拡大期待から素材のウエイトを増やしました。一方で、金利上昇による住宅市場の減速懸念から銀行のウエイトを引き下げました。

### ●個別銘柄

個別銘柄では、経済活動に伴う国内消費需要拡大の恩恵が期待できることから、主に食品やハードウェア製品の流通およびマーケティングを手掛けるメトキャッシュのほか、主に飲料缶やガラス瓶、パッケージ製品の製造、販売を手掛けるオーロラ、国内で広く小売事業を展開するウェストファーマーズなどを購入しました。一方で、金利上昇に伴う住宅市場および住宅ローン市場の減速見通しから、ウエストパック銀行やオーストラリア・コモンウェルス銀行などの銀行銘柄を一部売却しました。原油価格や天然ガス価格上昇による恩恵が株価に織り込まれたウッドサイド・エナジー・グループを一部売却しました。

ベンチマークとの差異について（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第6期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00％）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,307

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。  
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

### オーストラリア高配当株式マザーファンド

米国の金利先高観がピークを過ぎるまでの間、株式市場も神経質な展開が続くと予想します。当社では、欧米経済は減速するものの、深刻な景気後退は回避できるとの見通しを維持しています。中国経済についても、2023年以降は政策による景気下支え

が積極化すると予想します。経済・社会活動の回復、拡大により、オーストラリア国内経済、主要な内需関連企業の業績も拡大基調を維持する見通しです。株式市場も企業業績の成長に沿った上昇を見込みます。

個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>224円</b>	<b>1.591%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は14,052円です。</div>
（投 信 会 社）	(108)	(0.768)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(108)	(0.768)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(8)	(0.055)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>27</b>	<b>0.194</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(22)	(0.158)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(5)	(0.037)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>7</b>	<b>0.051</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
（保 管 費 用）	(6)	(0.044)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>258</b>	<b>1.836</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

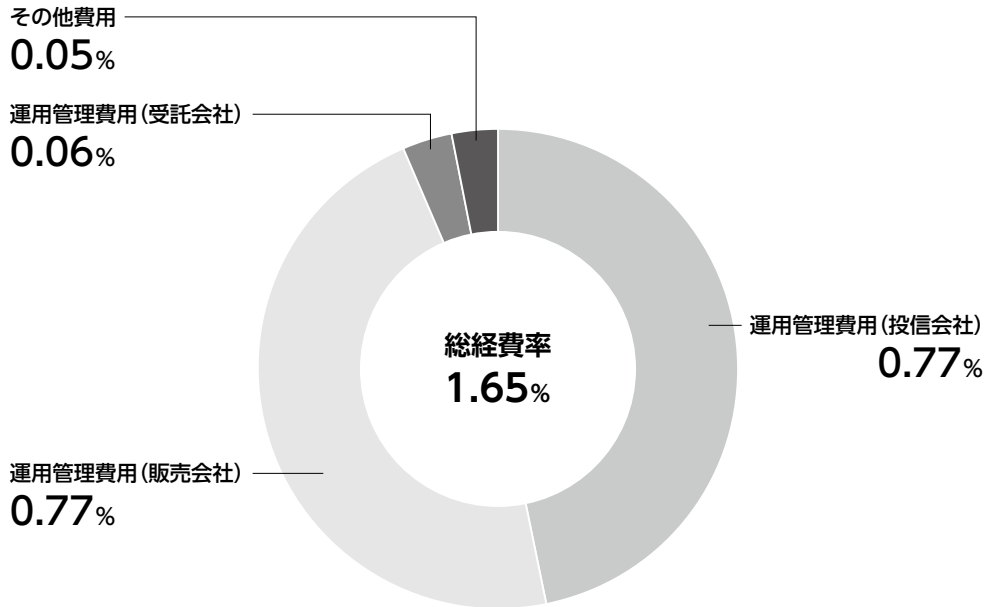
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.65%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 1,188	千円 3,932	千口 6,353	千円 20,776

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

項 目	当 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,629,713千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,629,268千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	1.00

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月7日から2022年12月5日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月7日から2022年12月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2022年12月5日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価	額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 26,253	千口 21,089	千円 73,920	千円 73,920

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの期末の受益権総口数は650,578,676口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年12月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 73,920	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	—	0.0
投 資 信 託 財 産 総 額	73,920	100.0

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（2,207,669千円）の投資信託財産総額（2,281,895千円）に対する比率は96.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=91.81円です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	73,920,617円
オーストラリア高配当株式 マザーファンド(評価額)	73,920,617
(B) 負 債	552,678
未払信託報酬	550,471
その他未払費用	2,207
(C) 純資産総額(A-B)	73,367,939
元 本	48,588,093
次期繰越損益金	24,779,846
(D) 受益権総口数	48,588,093口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,100円

※当期における期首元本額59,571,009円、期中追加設定元本額2,774,947円、期中一部解約元本額13,757,863円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2021年12月7日 至2022年12月5日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	16,119,230円
売 買 益	19,299,740
売 買 損	△ 3,180,510
(B) 信託報酬等	△ 1,159,248
(C) 当期損益金(A+B)	14,959,982
(D) 前期繰越損益金	8,702,076
(E) 追加信託差損益金	1,117,788
(配当等相当額)	( 2,121,025)
(売買損益相当額)	(△ 1,003,237)
(F) 合計(C+D+E)	24,779,846
次期繰越損益金(F)	24,779,846
追加信託差損益金	1,117,788
(配当等相当額)	( 2,123,908)
(売買損益相当額)	(△ 1,006,120)
分配準備積立金	23,662,058

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,592,777円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	11,367,205
(c) 収益調整金	2,123,908
(d) 分配準備積立金	8,702,076
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	25,785,966
1万口当たり当期分配対象額	5,307.05
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

第21期（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
	円		%	%	%	百万円
17期（2020年12月7日）	23,159		14.3	57.9	39.6	4,342
18期（2021年6月7日）	28,021		21.0	63.8	33.4	3,244
19期（2021年12月6日）	27,184	△	3.0	65.8	28.6	2,735
20期（2022年6月6日）	34,859		28.2	67.3	28.8	2,543
21期（2022年12月5日）	35,051		0.6	65.0	29.8	2,280

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2022年6月6日	円		%	%	%
6月末	34,859		—	67.3	28.8
7月末	32,513	△	6.7	67.3	27.9
8月末	33,221	△	4.7	67.8	28.7
9月末	33,710	△	3.3	67.2	28.4
10月末	31,405	△	9.9	67.6	26.5
11月末	33,447	△	4.1	65.3	29.7
11月末	35,206		1.0	64.8	29.9
(期 末) 2022年12月5日	35,051		0.6	65.0	29.8

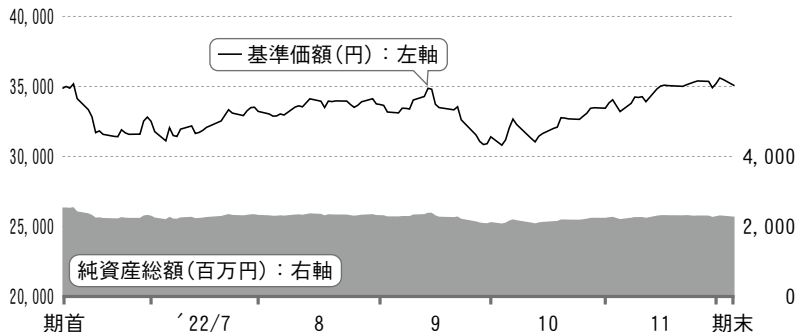
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	34,859円
期末	35,051円
騰落率	+0.6%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月中旬から8月中旬まで、オーストラリアや中国の景気回復期待でオーストラリア株式市場が上昇したこと</li> <li>・ 10月中旬から期末まで、米国の利上げペースの減速期待から世界的に株式市場が上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期初から6月中旬にかけて国内の金融引き締め懸念から株式市場が下落したこと</li> <li>・ 8月中旬から10月上旬にかけて、米国のインフレ懸念の再燃で世界的に株式市場が下落したこと</li> <li>・ 期間を通じてオーストラリアドルが対円で下落したこと</li> </ul>

### ▶ 投資環境について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

期間におけるオーストラリアの株式市場は、ほぼ変わらずとなりました。為替市場ではオーストラリアドルに対して円高となりました。

#### 株式市場

オーストラリア株式市場は、期間においてほぼ変わらずとなりました。

オーストラリアの景気は失業率が低下、企業業績も堅調な回復基調をたどりました。一方でRBA（オーストラリア準備銀行）は継続的に利上げを実施し、株式市場はレンジでの推移となりました。また、米国の金融政策への思惑や中国の景気動向に対しても神経質な動きでした。

期初は、RBAによる予想以上となる利上げの実施により株式市場は下落しました。その後、国内景気の回復や中国大都市部でのロックダウン（都市封鎖）解除に伴う景気回復期待から株式市場は上昇しました。8月中旬以降は、米国のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な政策への警戒感や中国のゼロコロナ政策の継続や不動産問題の再燃などに伴う景気減速懸念から下落しました。10月上旬以降、米国のインフレ懸念がやや緩和し、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペースは減速していくとの見方が広まると株式市場は上昇し、前期末とほぼ同じ水準まで戻しました。

#### 為替市場

オーストラリアドルは円に対して下落しました。

米国の利上げペースが加速したことから、期初から10月中旬まで円は対米ドルで下落しました。その後、米国の利上げペースが減速するとの見方から、期末にかけて円は対米ドルで反発しました。オーストラリアドルも対米ドルで、下落が続いた後、期末にかけて上昇しました。オーストラリアドル・円の動きはレンジの動きとなりましたが、期を通じて、オーストラリアドル安・円高となりました。

### ▶ ポートフォリオについて（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

#### 株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

#### 業種配分

景気回復に伴う業績拡大期待から素材のウエイトを増やしました。一方で、金利上昇による住宅市場の減速懸念から銀行のウエイトを引き下げました。



### 個別銘柄

景気回復の恩恵期待から、主に飲料缶やガラス瓶、パッケージ製品の製造、販売を手掛けるオーロラ、国内で広く小売事業を展開するウェスファーマーズなどを購入しました。一方で、金融では、大手銀行の一角であるオーストラリア・コモンウェルス銀行などを一部売却しました。また原油価格や天然ガス価格上昇による恩恵が株価に織り込まれたウッドサイド・エナジー・グループも一部売却しました。

### ▶ベンチマークとの差異について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

米国の金利先高観がピークを過ぎるまでの間、株式市場も神経質な展開が続くと予想します。当社では、欧米経済は減速するものの、深刻な景気後退は回避できるとの見通しを維持しています。中国経済についても、2023年以降は政策による景気下支えが積極化すると予想します。経済・社会活動の回復、拡大により、オーストラリア国内経済、主要な内需関連企業の業績も拡大基調を維持する見通しです。株式市場も企業業績の成長に沿った上昇を見込みます。

個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

### ■ 1万口当たりの費用明細（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	36円 (30) ( 6)	0.108% (0.090) (0.018)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 ( 7) ( 0)	0.020 (0.020) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	42	0.128	

期中の平均基準価額は33,173円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年6月7日から2022年12月5日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		2,610 (53.33)	3,634 ( - )	2,894.43	6,155

※金額は受渡し代金。

※ ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

#### (2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	NATIONAL STORAGE REIT	口	千オーストラリア・ドル	口	千オーストラリア・ドル
			-	-	160,000	384
		RURAL FUNDS GROUP	-	-	86,665	228
		TRANSURBAN GROUP	75,000	1,004	-	-
		APA GROUP	10,000	104	20,000	229
	STOCKLAND	-	-	30,000	111	

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年6月7日から2022年12月5日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	923,075千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,514,727千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.60

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年6月7日から2022年12月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年6月7日から2022年12月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2022年12月5日現在)

### (1) 外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)	期末		業種等	
		株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
ORORA LTD	—	1,500	465	42,691	素材	
BHP GROUP LTD	420	490	2,242	205,860	素材	
ALUMINA LTD	5,580	5,580	876	80,431	素材	
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	465.89	143.89	513	47,174	エネルギー	
FORTESCUE METALS GROUP LTD	—	690	1,357	124,670	素材	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	504.4	194.4	610	56,006	銀行	
WESTPAC BANKING CORP	400	200	475	43,628	銀行	
TELSTRA GROUP LTD	—	3,990	1,596	146,528	電気通信サービス	
AUST AND NZ BANKING GROUP	800	220	542	49,788	銀行	
RIO TINTO LTD	70	180	2,014	184,989	素材	
AMCOR PLC-CDI	720	660	1,197	109,918	素材	
METCASH LTD	1,200	1,200	507	46,602	食品・生活必需品小売り	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	100	60	641	58,914	銀行	
TELSTRA CORP LTD	3,990	—	—	—	電気通信サービス	
MACQUARIE GROUP LTD	40	40	720	66,191	各種金融	
WESFARMERS LTD	—	100	484	44,491	小売	
SUNCORP GROUP LTD	1,789.1	600	693	63,679	保険	
JB HI-FI LTD	270	270	1,214	111,474	小売	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	16,349.39 14銘柄	16,118.29 17銘柄	16,153 —	1,483,042 <65.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	16,349.39 14銘柄	16,118.29 17銘柄	— —	1,483,042 <65.0%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### (2) 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリア・ドル	千円	%
SCENTRE GROUP	239,000	239,000	700	64,291	2.8
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	109,418	109,418	353	32,447	1.4
NATIONAL STORAGE REIT	160,000	—	—	—	—
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	240,000	240,000	823	75,577	3.3
RURAL FUNDS GROUP	546,665	460,000	1,154	106,003	4.6
CHARTER HALL LONG WALE REIT	96,000	96,000	425	39,044	1.7
HOMECO DAILY NEEDS REIT	319,000	319,000	419	38,512	1.7
DEXUS/AU	48,000	48,000	379	34,858	1.5
TRANSURBAN GROUP	—	75,000	1,061	97,433	4.3
APA GROUP	136,000	126,000	1,421	130,487	5.7
CHARTER HALL RETAIL REIT	80,000	80,000	322	29,599	1.3
STOCKLAND	120,000	90,000	344	31,646	1.4
小 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	2,094,083 11銘柄	1,882,418 11銘柄	7,405 <29.8%>	29.8
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	2,094,083 11銘柄	1,882,418 11銘柄	— <29.8%>	29.8

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年12月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	1,483,042	65.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	679,904	29.8
投 資 信 託 財 産 総 額	118,948	5.2
	2,281,895	100.0

※期末における外貨建資産（2,207,669千円）の投資信託財産総額（2,281,895千円）に対する比率は96.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=91.81円です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,281,895,900円
コール・ローン等 株 式(評価額)	111,247,941
投資証券(評価額)	1,483,042,588
未 収 配 当 金	679,904,936
(B) 負 債	1,540,005
未 払 解 約 金	7,700,435
そ の 他 未 払 費 用	1,537,563
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,442
元 本	2,280,355,895
次 期 繰 越 損 益 金	650,578,676
(D) 受 益 権 総 口 数	1,629,777,219
1 万 口 当 ち 基 準 価 額(C / D)	650,578,676口
	35,051円

※当期における期首元本額729,595,413円、期中追加設定元本額17,445,912円、期中一部解約元本額96,462,649円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド(毎月決算型)	629,489,230円
オーストラリア・高配当株ファンド(年1回決算型)	21,089,446円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2022年6月7日 至2022年12月5日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	61,412,907円
受 取 配 当 金	61,392,991
受 取 利 息	34,986
支 払 利 息	△ 15,070
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 57,083,932
売 買 益	73,686,285
売 買 損	△ 130,770,217
(C) そ の 他 費 用 等	△ 457,856
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	3,871,119
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,813,720,521
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 228,214,886
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	40,400,465
(H) 合 計(D + E + F + G)	1,629,777,219
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,629,777,219

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。